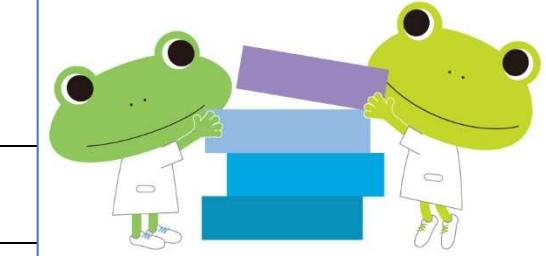


2025年度 看護部目標



目標 1. 安全・安楽な看護・看護ケアを提供する。

1. 医療安全対策・感染防止対策の実施

- ・基本的ルールを守る:「与薬の6R」「バーコード認証」「ビーフリードの開通」
- ・離床センサーの適正使用(フローチャートの活用<設置・離脱>・設置場所・スイッチ ON)
- ・ピクトグラムの活用
- ・感染標準予防策の徹底
- ・感染経路別予防策の徹底

2. 「そばにいる看護」で、思いやりのある看護の提供

- ・倫理的思考を身につけ、患者中心の看護を行う
- ・患者・家族の立場に立って考え方行動する
- ・外部顧客(患者・家族・関係各所の方たち)への丁寧な接遇を徹底する
- ・思いやりのある看護を、やりがいに繋げる
- ・「ムダ」(動線・記録・配置・会議など)、各病棟の「ムラ」を排除し、患者のそばにいる時間を増やす

達成基準

1. 医療安全

- ・ルール違反:与薬の6R → 5件以内
バーコード認証 → 2件以内(前年度6件)
ビーフリード開通 → 3件以内(前年度10件)
- ・3b以上のアクシデント7件以内(前年度7件(転倒転落に起因するもの6件))

感染対策

- ・新型コロナアウトブレイクは、2週間で収束
- ・新型コロナ以外のアウトブレイク「0」

2. 思いやりのある看護の提供

- ・倫理研修の実施:看護部・各部署1回ずつ
- ・クレームの減少:14件以下(前年度14件)
- ・職員満足度調査:「やりがいを感じられる」2.98以上
- ・「ムダ」「ムラ」の排除により、患者のそばにいる時間が増えたと実感できる
(時間増加・インシデント減少(日中の転棟転落・チューブ抜去)・コール減少など)

目標 2. 職員全員で働きやすい職場を作る。

達成基準

1. 経営参画:入院基本料1(7:1)の担保

- ・勤務表管理:勤務時間の管理
- ・在院日数16日以下:多職種連携
- ・稼働率90%(平均患者数155人)
- ・必要度の確保(コスト漏れ対策の強化・暫定評価の継続(AC評価))

2. 職員の働きがいの向上を目指す

- ・目標面接を通じ、個人の目標を明確にしてチャレンジする
- ・中間面接を通じ、フィードバックでお互いの期待を共有する
- ・育成面接を通じ、評価、次年度に向けてあらたな目標を持つ
- ・業務と意識の改善から、超勤時間を減少し、QOLを高める

3. 心理的安全性を感じる、ヘルシーワークプレイスを目指す

- ・基本方針の実行:笑顔・挨拶・チームワーク
- ・アサーティブコミュニケーションを学び、技術を身につけ意見が言える
- ・倫理的風土を醸成し、ハラスメントをやるさない
- ・年次有給休暇・夏季休暇を取得する
- ・役職者は、職員の期待を把握し応える

1. 入院基本料1(7:1)

- ・時間管理(計画的な対応)
- ・在院日数16日以下
- ・4病棟稼働率90%、ICU(10床)とSCU稼働率95%
- ・必要度 ①20% ②27%以上

2. 働きがい

- ・チャレンジ目標達成率(75%達成者が):80%
- ・職員満足度調査「適切な評価制度」2.54以上
- ・退職者:自己都合23名以下
- ・職員満足度調査「超勤が少ない」2.75以上
- ・職員満足度調査「有休の取得」2.91以上

3. 職員満足度調査と実態

- ・「上司との関係」:3.80以上
- ・「同僚との関係性」:3.12以上
- ・「スタッフの声を聴いてくれる」2.72以上
- ・「管理職のマネジメント力」:2.78以上
- ・職員が笑顔で挨拶を交わす:100%
- ・アサーティブに意見交換ができる:100%
- ・有給休暇取得:50%(年10日)